

# 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成30年11月6日（火）5校時  
児童数 男子8名 女子5名 計13名  
指導者 杉本 智子

## 1 単元名 くらべてよもう

教材名 じどう車くらべ（光村図書 1年下）

## 2 単元について

第1・2学年における「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書をしよとする態度を育てる。」である。ここで身に付けさせたい読みの力は、「読むこと」（2）①「イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む。」ことである。

本単元では、2つの問い（「しごと」と「つくり」）に対して、「しごと」のための「つくり」になっているという答えが、3種類の自動車で繰り返し説明されている。段落毎に分けて書かれた「しごと」と「つくり」が「そのために」で関連づけられていることを比べながら読んで、「しごと」のための「つくり」になっていることに気付かせ、内容の大体を読み取らせたい。また、図鑑や自動車の本を読んでも「しごと」と「つくり」の関連性を考えて説明できるように、挿絵から必要な情報を見つけたり、文章と挿絵を照らし合わせたりする読み方を取り入れる。学習のまとめには、「じどう車カード」を作るという活動を据え、「しごと」と「つくり」の関連性や基本文型を生かしながら学習を再構成できるように進めたい。

児童は、これまで読み取った文章の内容や構成、文型を使って「クイズ」を作る学習をしてきた。その中で、文章と挿絵を照らし合わせながら文章を理解する学習も繰り返してきた。考えを話すことに意欲的な子どもが多いが、ひらがなを言葉のまとまりとしてとらえたり、書かれている内容の大体を読んだりすることは十分とは言えず、個人差が大きい。本単元の指導に当たっては、繰り返し音読をさせて言葉のまとまりを捉えさせたり、絵に印をつけて文章と絵をつなげて考えさせたりしたい。

## 3 単元の目標

○自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとしている。

【関心・意欲・態度】

○挿絵と文、文と文とを結び付けて、内容の大体を読むことができる。

【読むこと】

○必要な情報を見付け、書き抜くことができる。

【読むこと】

○長音・拗音・促音などの表記や、句読点を適切に用いて書くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 学習計画と振り返りの構想（全11時間）

次	時	目 標	振り返りの計画	
			目 的	期待する表現（例）
第一 次	1 ・ 2	「じどう車カード」を作ることを知り、興味をもって「じどう車くらべ」を読むことができる。	○単元の学習への意欲・興味の高揚	「じどう車カード」を作るのが楽しみだと思いました。面白い自動車を探したいと思いました。
	3	2つの「問い」があることに気づき、学習の見通しをもつことができる。	○知識・理解の定着	問いが、「どんなしごと」と「どんなつくり」の2つあることが分かりました。
第二 次	4	バスや乗用車の「しごと」と、車体がそのための「つくり」になっていることを読んで見つけることができる。	○学習事項の深化・主体化	バスの窓がたくさんあるのは、お客さんがよく見えるように作られているからだと分かりました。景色がよく見えて、楽しいだろうなと思いました。
	5	トラックの「しごと」と、車体がそのための「つくり」になっていることを読んで見つけることができる。	○学習事項の深化・主体化	トラックは、荷台が大きいからたくさんの荷物が運べることが分かりました。荷台が大きいとたくさん荷物が運べるのでいいなと思いました。
	6	クレーン車の「しごと」と、車体がそのための「つくり」になっていることを読んで見つけることができる。	○学習事項の深化・主体化	クレーン車のあしは、車が傾かないようについていることが分かりました。重い荷物をつり上げるときにぐらぐらしないようについているんだなと思いました。
第三 次	7 本 時	知識や挿絵から、はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、説明することができる。	○学習事項の深化・主体化	はしご車は、高い所にいる人を助けるために長いはしごがついていてすごいと思いました。絵をよく見て「しごと」にぴったりの「つくり」を見つければよいと思いました。
	8	はしご車のメモをもとに「じどう車カード」を書いてまとめ、図鑑と比べることができる。	○知識・理解の定着	図鑑には、「しごと」とか「つくり」と書いていないけど、絵を見たり、文を読んだりしながら考えればよいと分かりました。
	9 ・ 10	自分の選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を「じどう車カード」に書くことができる。	○単元の学習への意欲・興味の高揚	「しごと」にぴったりの「つくり」を考えて書くことができました。次に、友達と交換して読むのが楽しみです。
	11	できあがった「じどう車カード」を友達と交換して読み合い、感想を交流することができる。	○学び方・考え方の向上	〇〇さんの自動車カードは、〇〇の「しごと」と「つくり」がぴったりでいいなと思いました。

5 本時の指導 (7/11)

(1) 目標

知識や挿絵から、はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、関連を意識して説明することができる。

(2) 「いっかたい授業」・振り返りをさせるにあたって

①本時で想定した振り返りの姿（設定したゴール像）

はしご車は、高い所にいる人を助けるために長いはしごがついていてすごいと思いました。絵をよく見て「しごと」にぴったりの「つくり」を見つければよいと思いました。

②ゴールに迫るための「いっかたい授業」の留意点

いっ：絵から説明を考えていくことが自分の「自動車カード」作りに役立つことに触れて、価値づける。

か：既習の学習を思い出しながら、どんなことが説明できればよいのか予想させる。

た：挿絵を手掛かりに必要な情報を見つけ、「しごと」と「つくり」の関連を想起しながら、説明する内容を考えさせる。

い：今日の学習をして「思ったこと」や文章のない図鑑などから自分の「自動車カード」を作るときに、「しごと」や「つくり」をどう説明すればよいと考えたのかを発表させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 (3)	<p>いっ</p> <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>「じどう車カード」をつくろう。 はしご車の「しごと」と「つくり」 を見つけて、せつめいしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はしご車」の「しごと」と「つくり」を見つけて説明することを確認する。</li> <li>・自分の「自動車カード」を作る際に、役立つ学習であることに触れ、価値付ける。</li> </ul>
展開 (32)	<p>か</p> <p>2 課題解決の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな説明ができればよいか予想する。</li> </ul> <p>た</p> <p>3 はしご車の説明について考える。</p> <p>(1) はしご車の「しごと」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料や知識を基に「しごと」について考えたことを発表する。</li> </ul> <p>(2) はしご車の「つくり」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を見て、自動車の作りの特徴に○をつけて、発表する。</li> </ul> <p>(3) 関連を考えて「しごと」と「つくり」を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しごと」に合わせて、どのように「つくり」を選べばよいか確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通す段階で、まとめの文型を提示し、どんな説明ができればよいか具体的にイメージさせる。</li> <li>・「そのために」を使って「しごと」と「つくり」をつなげればよいこと想起させる。</li> <li>・はしご車の資料を見せて、全員が「しごと」について考えられるようにする。</li> <li>・「つくり」が見つけれられないような時は、他の自動車と比べて「つくり」の特徴を考えさせる。</li> <li>・「つくり」を選んだ理由を尋ね、「しごと」との関連性を確かめる。</li> <li>・確かめられた「しごと」と「つくり」は、基本文型に入れて読ませ、説明の表現につなげる。</li> </ul>

終	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しごと」と「つくり」を選んで書く。</li> <li>・全体で確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくり」は、1つでもよいこととする。</li> </ul>
末	<p>5 今日の学習を振り返る。</p> <p>はしご車は、高い所にいる人を助けるために長いはしごがついていてすごいと思いました。</p> <p>絵をよく見て「しごと」にぴったりの「つくり」を見つければよいと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの視点から選ばせて、振り返りをさせる。子どもの発言を共感的に受け止めて、価値付ける。</li> </ul> <p>〈振り返りの発問〉 今日の学習をして「思ったこと」か、「絵だけの本から、自分の自動車カードをつくる時、『しごと』や『つくり』の説明するには、こうすればできると考えたこと」を発表してください。</p>
(10)		

(4) 板書計画

